

「鹿島区市街地の 道路ネットワーク検討会」 報告書

令和7年3月

鹿島区市街地の道路ネットワーク検討会

事務局 南相馬市土木課



目 次

1.	検討会の背景、目的、進め方	2-
2.	検討会の体制	3-
3.	検討対象エリア	4-
4.	検討会実施内容	5-
5.	第1回検討会の実施内容	6-
6.	第2回検討会の検討会内容(テーマ:道路ネットワーク)	19-
7.	第3回検討会の検討会内容	25-
8.	まとめ	29-
9.	参考資料	31-

1. 検討会の背景、目的、進め方

(1) 背景

本検討会を設置した背景は次のとおりです。

- 鹿島区市街地と国道6号の間に JR 常磐線が通っており、さらにそれらが近接しているという鹿島区特有の地形から、市街地と幹線道路のアクセスの悪さが以前から課題となっている
- 市街地北側に位置する横手踏切について、JR 常磐線や国道6号との交差角度が悪く課題となっている
- 東日本大震災により土地利用が著しく変化した
- 岩妻茂手線(2工区)について予備調査設計を行った結果、事業費が約 61.5 億円であることがわかり、事業を見送る方針となった
- 鹿島区市街地の道路には多くの課題がある
- 少子高齢化や人口減少による厳しい財政制約の下においても、持続的で安全・安心な道路ネットワークの整備が必要となる
- 地域との意見交換を通じて地域が感じている課題を把握し、解決策を検討する必要がある。

(2) 目的

本検討会を設置した目的は次のとおりです。

地域住民との意見交換により鹿島区市街地の道路の課題を明確にし、
解決策を考え、今後の道路施策に反映させていく

(3) 進め方

本検討の進め方の概要は次のとおりです。

- 本検討会により、地域住民目線での道路に関する課題を抽出する
- これらの課題について意見交換により解決策を検討する
- これらを取りまとめ整理する

2. 検討会の体制

(1) 検討会の体制

本検討会の委員は、教育、交通、商工、観光、地域住民、福祉、行政の分野から、各団体に推薦された方により構成されています。南相馬市が事務局となり、関係機関と調整・報告を行いながら勧めました。

検討会体制のイメージは図1に示すとおりです。

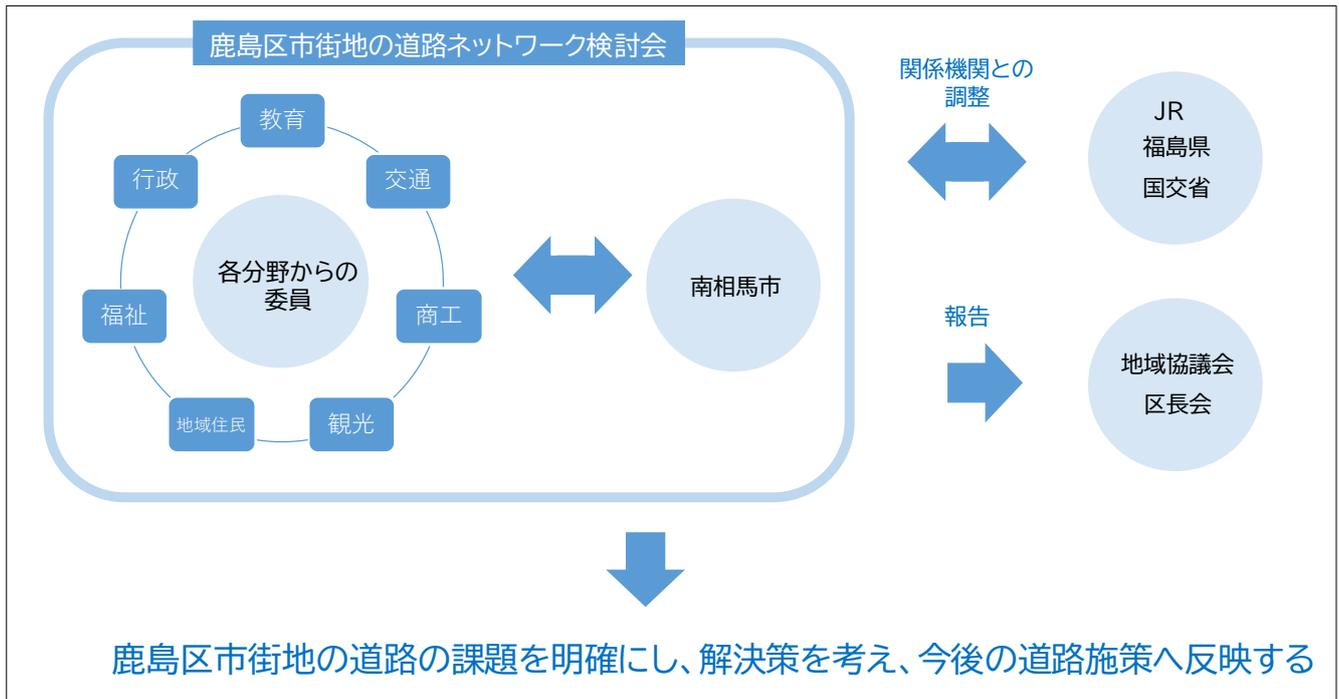


図1. 検討会の体制

3. 検討対象エリア

(1) 検討対象エリア

検討対象エリアは鹿島区市街地周辺のエリアとします。範囲は図2に示すとおりです。



図2.検討対象エリア

4. 検討会実施内容

(1) 実施内容

検討会の実施内容の概要は図3に示すとおりです。

<p>第1回 令和6年8月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討会の趣旨についての説明 テーマを絞らず道路に関して幅広く意見交換(グループワーク実施) 	<p><意見交換内容詳細> 鹿島区道路全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワークに関すること 交通安全に関すること 維持管理に関すること 避難路に関すること
<p>第2回 令和6年11月12日</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回のとりまとめ報告 道路ネットワークにテーマを絞り意見交換(グループワーク実施) 	<p><意見交換内容詳細> 道路ネットワーク関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地環状道路の構築 国道6号と市街地のアクセス改善 鹿島小送迎路・避難路の整備 鹿島SICと市街地のアクセス道路
<p>第3回 令和7年3月18日</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回のとりまとめ報告 検討会報告書の概要の説明と意見交換 委員による意見発表 	<p><意見交換内容詳細></p>

図3.実施内容

5. 第1回検討会の実施内容

令和6年8月30日、委員15名にご参加いただき、「第1回鹿島区市街地の道路ネットワーク検討会」を開催しました。

A班、B班の2グループに分かれ、図面と付箋を用いて道路に関する課題の発表と意見交換を行いました。初回はテーマを絞らず、幅広く意見交換を実施しました。

第1回検討会のご意見を分類したのについては、次のページ以降に示す表1から表5のとおりです。



(1) 道路ネットワークに関するご意見

班	番号	道路ネットワークに関するご意見	場所	対応策
A	1	国道6号線と市街地のアクセスが悪いことから、踏切で通勤時間帯の混雑、渋滞が発生している。 ※新地町、相馬市、南相馬市鹿島区、原町区、小高区、浪江町の中で、オーバースやアンダースがないのは鹿島区だけ	国道6号と市街地	国道6号と市街地のアクセス改善 (踏切の拡幅工事の実施、もしくは国道や線路を跨ぐオーバースやアンダースを伴う道路改良工事の実施)
A	2	①旧国道(県道鹿島浪江線)沿線には住宅が多いので、県道鹿島浪江線の歩道設置交差点の改修は難しいのではないかと。 ②国道6号線の東側に住んでいる人が市街地に入る幹線道路がないので入ってこれない。国道6号の東と西をつなぐ幹線道路が必要だ。	国道6号と市街地	①県道浪江鹿島線の歩道設置工事 ②国道6号と市街地のアクセス改善
A	3	(踏切統廃合に伴い)仮に踏切をなくすとなった場合、「横手踏切」を無くすことは、野馬追のルートになっているので観光的に難しいのでは。	横手踏切	野馬追のルート変更 (横手踏切を廃止し他の踏み切りを拡幅する場合)
A	4	(県道浪江鹿島線について)真野川の右岸側は道が広くて良いが、左岸側は狭い。	県道浪江鹿島線	県道浪江鹿島線の歩道設置
A	5	横手踏切・茂手踏切・海老街道踏切が狭い。上町踏切は混雑している。	国道6号と市街地	国道6号と市街地のアクセス改善
A	6	鹿島中学校の位置で、小中一貫校ができるのであれば、鹿島小付近の道路は整備する必要がなくなるのでは	鹿島小学校周辺	-

A	7	セデッテから市街地に向かう幹線道路があったほうがよい	鹿島 SA から市外地	鹿島 SA と鹿島区市街地を結ぶアクセス道路の整備
B	8	鹿島中学校周辺が環状道路になっていない。	鹿島区中学校周辺	鹿島区市街地の環状道路の構築(鹿島中学校周辺を含む)
B	9	鹿島小中一貫となるなら、そのことを想定した道路計画が必要。	-	-
B	10	鹿島中学校への通学路なのに、中 143 号線がほ場整備工事のせいで通れなくなっている。	中 143 号線	道路改良工事(中143号線)
B	11	上真野からの通学路がちゃんとしていない。	上真野地区～市街地	交通安全対策 草刈りなどの維持管理 歩道設置や歩行空間の確保(全体)
B	12	国道 6 号と線路までのスペースが無い。	国道 6 号	国道6号バイパスの整備
B	13	(鹿島区交差点)西から東方向に交差点に進入した車が右折しようとする、右折レーンが無いため町中で渋滞を起こしている。青信号の時間の時間も短いのではないか。	鹿島交差点	①市道1-2号線の右折車線設置 ②信号処理
B	14	市街地内では、右折レーンが無いこともあり信号のタイミング次第では渋滞が発生する。	市街地全体	市道の右折車線設置
B	15	市街地内の道路構造が直進できない構造になっているため、逐一右左折が必要なことから渋滞が発生している。	市街地全体	道路改良工事
B	16	セデッテ鹿島からの導線(市街地行き)が無い。	鹿島 SA から市外地	鹿島 SA と鹿島区市街地を結ぶアクセス道路の整備
B	17	小中一貫で国道・線路の西側に施設が集まるならなおさら東西の行き来できるように。	国道6号と市街地	国道6号と市街地のアクセス改善
B	18	サイクリングロードのコースにセデッテかしまも組み込めないか。	サイクリングコース	サイクリングロードのコース変更(追加) 【→検討中】

B	19	小学校への送迎で何百台と車が来るため、送迎を前提とした道路計画を。	鹿島小学校周辺	道路改良工事(鹿島小学校周辺)
B	20	跨線橋等が難しいなら、国道6号を線路から遠ざけるようなバイパスを作って距離を取る。	国道6号	国道6号バイパスの整備
B	21	横手踏切でのすれ違いが困難。片方が停車することとなる。	横手踏切	国道6号と市街地のアクセス改善(横手踏切の拡幅)
B	22	ローソンの交差点は信号機で待たされる時間が長いため避けている。		信号処理対応
B	23	朝の時間帯、南海老踏切周辺は小学校の送迎車両が多いが道路が狭いため、実質、一方通行になっている。	南海老踏切周辺	道路改良工事(鹿島小学校周辺)
B	24	岩妻茂手線の1工区を整備してほしい。	岩妻茂手線	道路改良工事(岩妻茂手線1工区)
B	25	上町踏切(北田阿良久線)には陸橋が必要だ。以前からその計画だった。	上町踏切	国道6号と市街地のアクセス改善(鹿島交差点への陸橋整備)

表1. 道路ネットワークに関するご意見

(2) 交通安全に関するご意見

班	番号	交通安全に関するご意見	場所	対応策
A	26	難しことは承知のうえであるが、支援学校前に信号機をつけてほしいと警察に要望した。交差点から交差点までの距離が短いなどの理由から、なかなかつけてくれない	支援学校	警察へ信号機設置の要望 【→要望予定あり】
A	27	支援学校前は歩道が片側しかない。両側歩道にしてほしい。	支援学校	歩道の設置などの安全な歩行空間の確保
A	28	西町の交番のある交差点で、東から進入し右折する際、右側からくる車が見にくい。また標識も見えない。カーブミラーが設置してある交差点の場合、ミラーに頼って一時停止しなくなる車が見受けられ、それはそれで危ない。	例:市道 1-1 号線と市道 1-2 号線の交差点	①ドライバーのモラル向上 ②樹木の剪定 【→後日対応済み】
A	29	鹿島小学校統合時の約束で歩道や防犯灯等の新設要望等をしたが、一つも実現していない。(4kmまでは自転車通学であるが、それ以上の場合は車送迎である。)	全体	防犯灯や歩道の設置
A	30	県道浪江鹿島線に歩道がない	県道浪江鹿島線	歩道設置工事(県道浪江鹿島線)
A	31	点字ブロックがなかったり、はがれていたりする。		点検、修繕 【→一部実施済み、継続して修繕実施実施】
A	32	(県道浪江鹿島線)車いすが通りやすい段差のない道路にしてほしい。縁石をなくしてバリアフリーにして欲しい。	県道浪江鹿島線	歩道設置工事(県道浪江鹿島線)
B	33	車のスピードが速くて横断歩道で停止してくれない。	支援学校付近	運転者のモラル向上
B	34	旧国道に歩道が無い。	県道浪江鹿島線	歩道設置工事(県道浪江鹿島線)

B	35	旧国道を南から北へ市街地に入 入する際の車のスピードが速い。	県道浪江鹿島線	運転者のモラル向上
A	45	田村内科の前に横断歩道がな い。横断者が多く危険。	県道浪江鹿島線	警察へ信号機設置の要望 【→要望予定あり】

表2. 交通安全に関するご意見

(3) 維持管理に関するご意見

班	番号	維持管理に関するご意見	場所	対応策
A	36	千倉地下歩道が暗い上に汚くて 危ないので、小学生1人では通ら ないように指導している。改善し てほしい。	千倉地下歩道	①地下歩道の照明の追加設置 【→既存照明が LED 照明であり、照明の 増設予定なし】 ②清掃 【→後日実施(今後も適宜実施)】
A	37	鹿島交差点・横手交差点は、押し ボタン式信号機であるが、ボタン 設置箇所に草が茂ってボタンが 押せない。	鹿島交差点・横 手交差点	信号交差点付近の草刈り 【→後日実施(今後も適宜実施)】
A	38	歩道、サイクリングロードの草刈 りをしてほしい。	サイクリングロ ード	除草作業の実施 【→後日実施(今後も適宜実施)】
A	39	鹿島交差点の東側の県道に草が 多く通学路であるので対応して 欲しい。	県道南海老鹿島 線	除草作業の実施 【→後日実施(今後も適宜実施)】
B	40	保険センター、保育園の前あたり の歩道生垣草繁茂。	市道 1-1 号線 ほか	除草作業の実施 【→後日実施(今後も適宜実施)】

表3. 維持管理に関するご意見

(4) 避難路に関するご意見

班	番号	避難路に関するご意見	場所	対応策
A	41	鹿島小には約400名の生徒がいる。津波などの水害の発生が予想される場合、避難のため300台くらいの車が鹿島小に集まることになる。鹿島小の子どもがどのように避難するかについて、考え方をしめしてもらいたい。桜平山が避難所となっているが、避難経路はどこなのか。このことは何年も前から市に言っている。	鹿島小 避難路	避難経路、避難方法の確立・周知 【→鹿島小学校にて避難マニュアルあり。 避難訓練も実施している】 道路改良工事の実施(鹿島小学校周辺)
A	42	海老街道踏切から西側に向かう道路の幅が狭く、送り迎えの車で渋滞している。災害が起きた際、さらに渋滞し、身動きが取れなくなる恐れがある。	鹿島小	道路改良工事の実施(鹿島小学校周辺)

表4. 避難路に関するご意見

(5) その他のご意見

班	番号	道路課題に関するご意見	場所	対応策
B	43	子供の安全なのか、車両通行に関する事なのか、議論するために、どの角度から話をすればよいのか、分野を絞ってもらわないと意見が出しにくい。	-	次回、テーマごとの意見交換を検討 【→第2回検討会にてテーマごとに実施】
A	44	市街地内に共同駐車場(市営)があると便利かも	-	駐車場の整備

表5. その他のご意見

(6) 図面

第1回検討会のご意見を分類ごとに図したものについては、次のページ以降に示す図4から図8のとおりです。



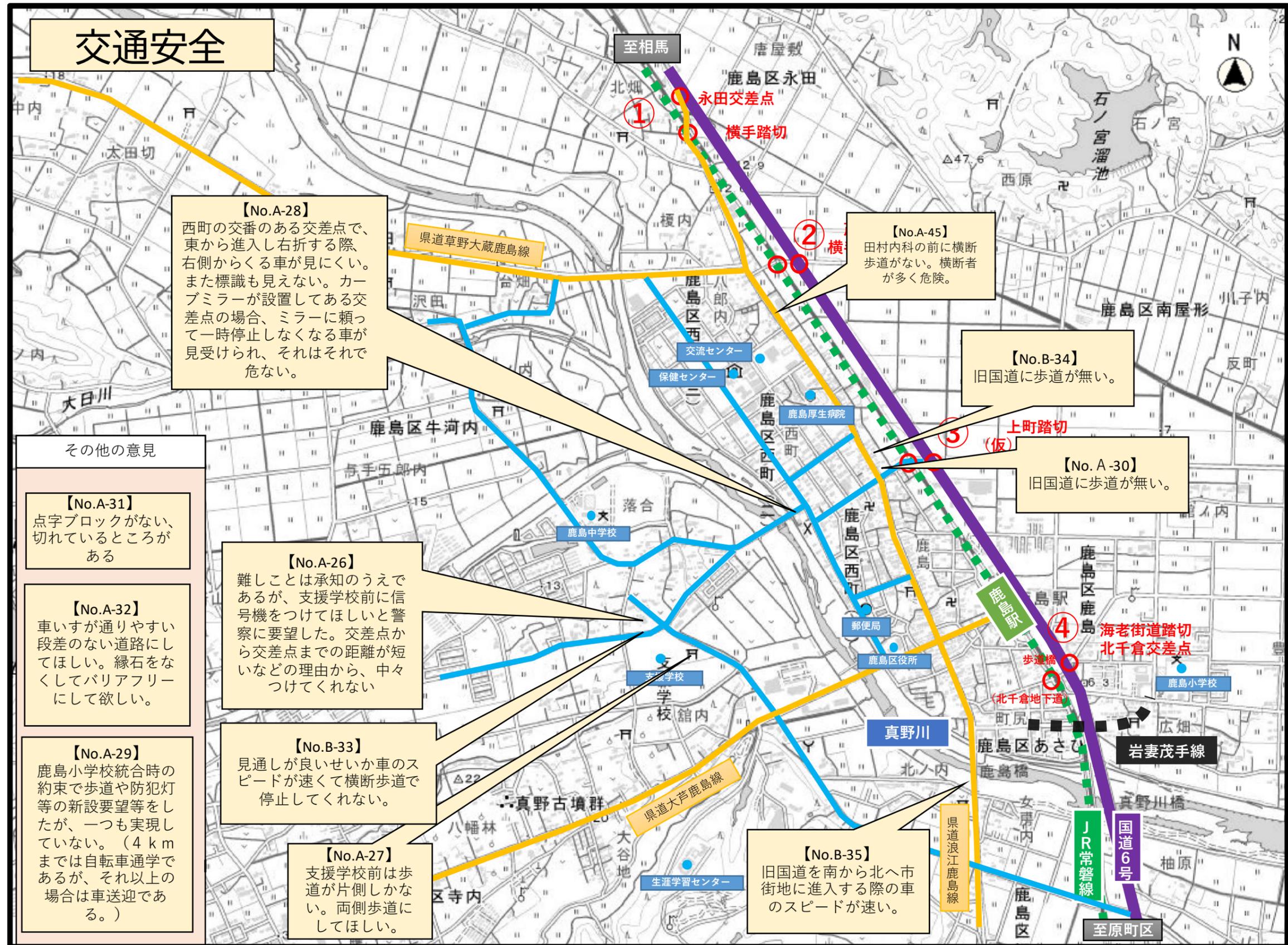


図5. 交通安全に関するご意見



図6. 維持管理に関するご意見

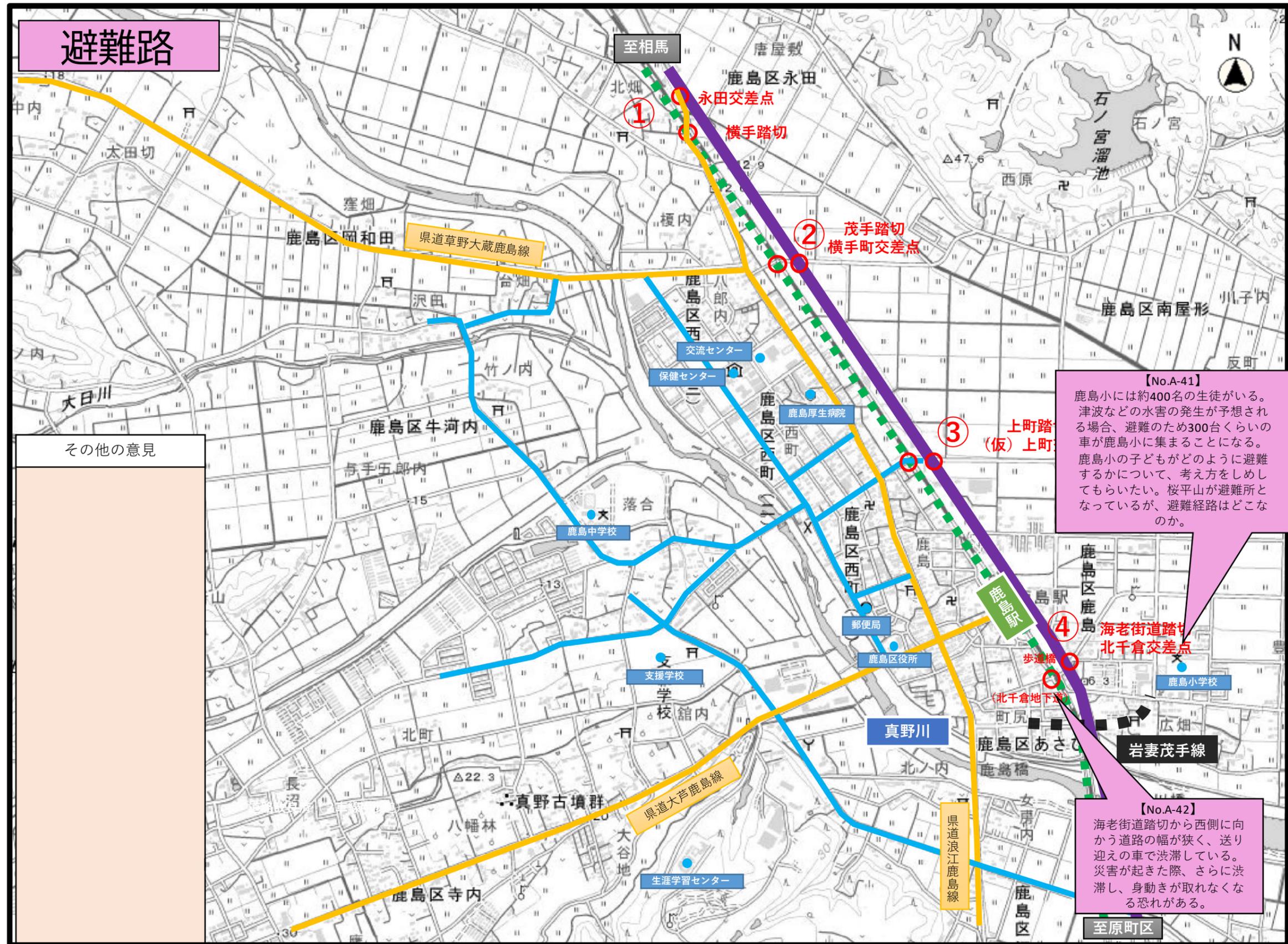


図7. 避難路に関するご意見

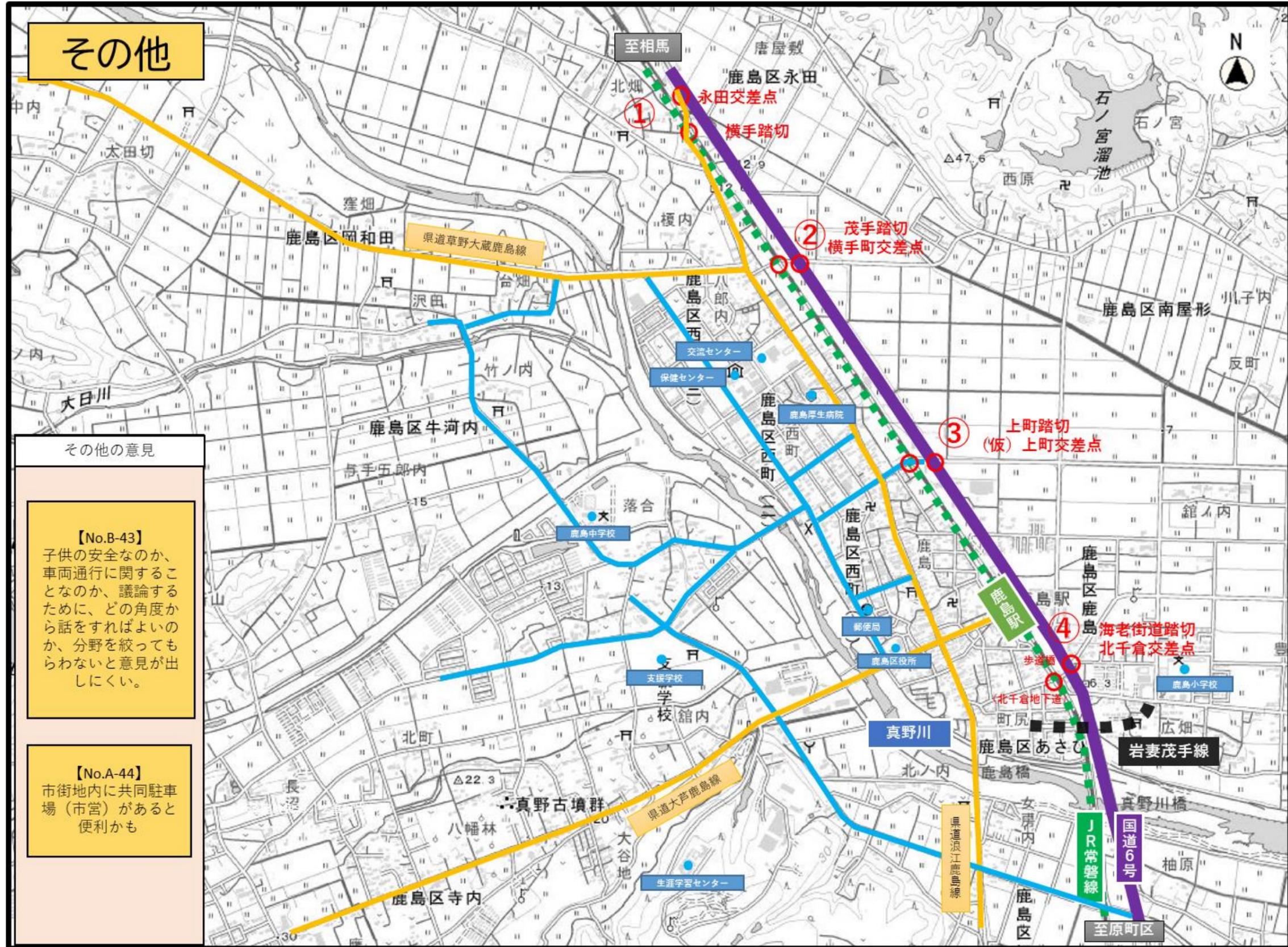


図8. その他のご意見

6. 第2回検討会の検討会内容(テーマ:道路ネットワーク)

令和6年11月12日、委員14名にご参加いただき、「第2回鹿島区市街地の道路ネットワーク検討会」を開催しました。

今回もA班とB班の2グループに分かれ意見交換を実施しました。

検討会前半では、第1回検討会のご意見内容報告と、ご意見のうち対応済み案件(除草など)の報告について事務局から発表を行いました。

検討会後半には、道路ネットワークに関してテーマを絞り、5つに分類分けたものをもとに、課題と解決策について意見交換を実施しました。

(1) 道路ネットワークに関するご意見

第1回検討会のご意見をまとめ、道路ネットワークに関するご意見を下記の5項目に分類に分けしました。

- ① 国道6号と市街地のアクセス改善
- ② 市街地環状道路の構築
- ③ 鹿島小送迎路・避難路の整備
- ④ 鹿島スマートインターチェンジと市街地のアクセス道路
- ⑤ その他(交通安全や維持管理)

そして、これらの項目について再度意見交換を実施しました。その結果は次に示す表6のとおりです。

班	番号	道路ネットワークに関するご意見	場所	対応策
A	46	横手踏切は北側の接続が悪い。横手踏切を廃止する場合、野馬追の際に、電車の通過時間を確認したうえで馬が通っているので、もしやるなら関係各所の調整が必要かもしれない。	横手踏切	野馬追のルート変更 (横手踏切を廃止し他の踏み切りを拡幅する場合)
A	47	昔、鹿島駅を整備するときの話で、茂手踏切は廃止する予定であった。茂手踏切を廃止して、横手踏切を改良すればいいのではないか。	横手踏切	国道6号と市街地のアクセス改善 (横手踏切の拡幅)

A	48	旧国道(県道鹿島浪江線)沿線には住宅が多いので、県道浪江線の歩道設置のための拡幅はほぼ不可能だと思う。	県道鹿島浪江線	-
A	49	茂手踏切の改良ができれば、上町踏切の混雑が緩和されるかもしれない	茂手踏切	国道6号と市街地のアクセス改善(茂手踏切の拡幅)
A	50	朝の時間帯、南海老踏切周辺は小学校の送迎車両が多いが道路が狭いため、実質、一方通行になっている。	鹿島小学校周辺	道路改良工事(鹿島小学校周辺) 交通規制による対策など
A	51	今後小中一貫校を見据えると、鹿島小周辺の道路整備は急がなくてもいいと思う。 (現状、学校側からのお願いで、地域の人に向けた朝7~8時の交通ルールが存在し、大多数の人はルールを守ってくれているので、苦情等はあまりない。交通事故とかもないので現状道路のままでも問題ないと思われる。)	鹿島小学校周辺	-
A	52	旧国道を整備するよりも保健センター前の市道をよりよくしていくほうがいいのではないか。(旧国道が中心の町は全国的にあまりないと思う)	市道1-1号線ほか	道路の適切な維持管理など (市道1-1号線ほか)
A	53	セデッテから市街地に向かう幹線道路があったほうがよい(極端な話、田んぼを突っ切っても)	鹿島SAから市外地	鹿島SAと鹿島区市街地を結ぶアクセス道路の整備
A	54	鹿島中学校周辺、市街地が環状道路になるように整備するべきだ。(中143号線)	中143号線	鹿島区市街地の環状道路の構築(中143号線含む)
B	55	横手踏切が廃止になるなら線路沿い等に側道を作って北側の踏切から出入りが出来るようにしたい。	横手踏切	国道6号と市街地のアクセス改善 (横手踏切)

B	56	踏切の改修の際に JR から踏切の集約が求められている。JR 側も斜め方向で接続する横手踏切を改善したい。	横手踏切	国道6号と市街地のアクセス改善 (茂手踏切、横手踏切)
B	57	横手踏切を改修する際は国道6号線と近すぎるため道路法線をぐるっと回して改修することになるが難しい。	横手踏切	国道6号と市街地のアクセス改善 (横手踏切の代替)
B	58	(市街地の道路について)クラック等も無く一筆書きのようにぐるっと回れるのが理想。	市街地道路全体	鹿島区市街地の環状道路の構築
B	59	小学校からの送迎時に同じ道を通るため渋滞が発生する。岩妻茂線等に抜け道を。(あさひ地区)	鹿島小学校周辺	道路改良工事(鹿島小学校周辺)
B	60	(岩妻茂手線)真野川沿いに通り抜けられるように道路整備を。	岩妻茂手線	道路改良工事(岩妻茂手線1工区)
B	61	市道の側溝に蓋が無いところがある(市道中188号線)	市道中188号線	側溝蓋掛け工事(市道中188号線)
B	62	南東側から中学校へ向かう時の道路法線(中188号線)が悪い。右折表示も無いため交通しにくい(現在路面標示が左折のみだが、右折禁止等の標識は無い)	市道中188号線	鹿島区市街地の環状道路の構築 道路改良工事(市道中188号線)
B	63	セブンイレブン側からの進入等でクラックが危険。駐在所前では死亡事故も	市道	鹿島区市街地の環状道路の構築 植栽の管理など視野の確保、交通安全対策
B	64	既存の県道を活かした整備計画。セデツテから県道34号に出て北へ向かい、県道268号から市街地へ。県道34号は途中で歩道が無くなっているためその整備を。	鹿島SAから市外地 県道相馬浪江線	鹿島SAと鹿島区市街地を結ぶアクセス道路の整備 県道相馬浪江線の歩道工事

表6. 道路ネットワークに関するご意見(第2回)

(2) 道路ネットワークに関するご意見(図面)

第2回検討会のご意見を分類ごとに図示したものについては、次のページ以降に示す図9から図10のとおりです。



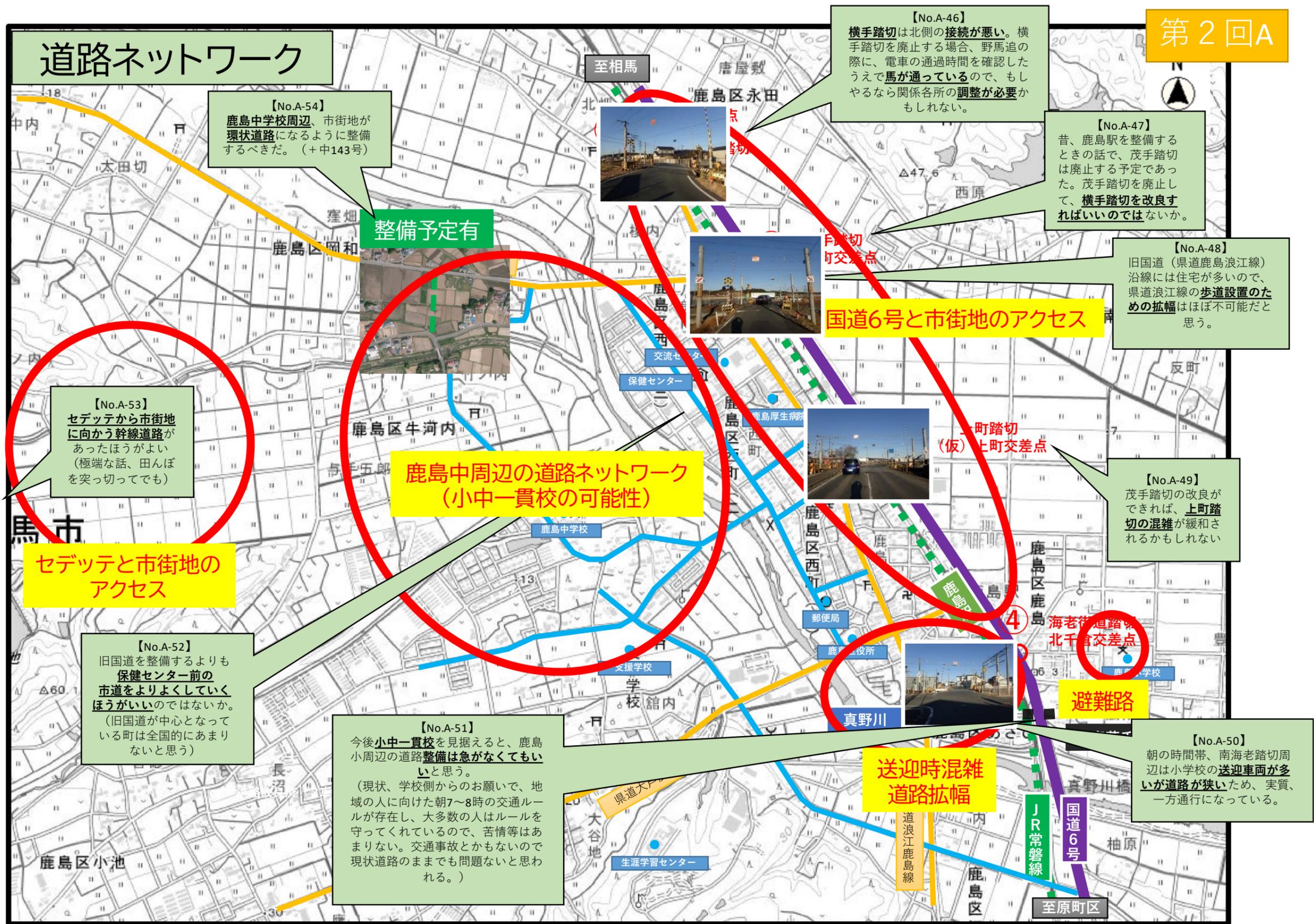


図9. 道路ネットワークに関するご意見(A班)

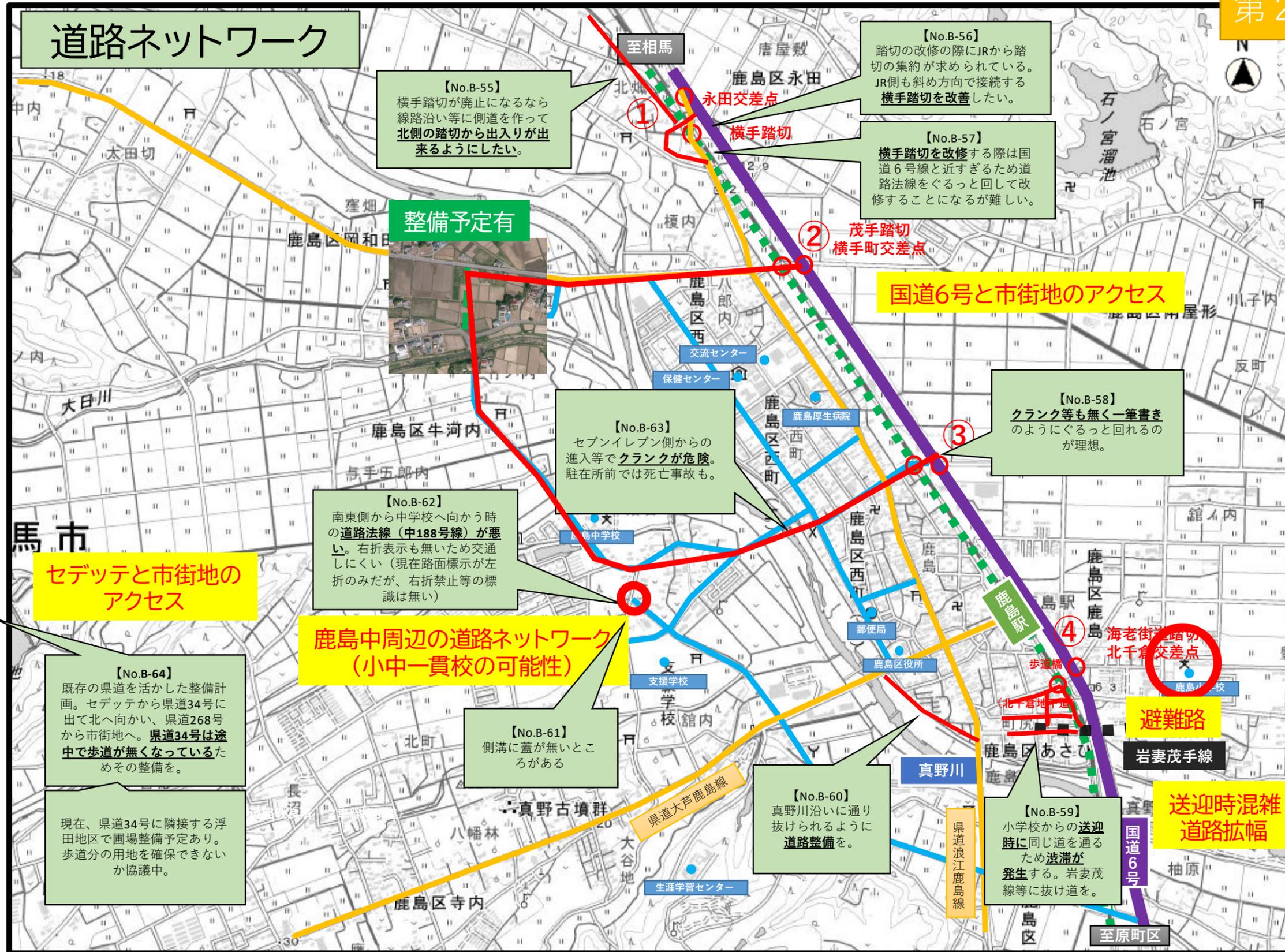


図10. 道路ネットワークに関するご意見(B班)

7. 第3回検討会の検討会内容

令和7年3月18日、委員10名にご参加いただき、「第3回鹿島区市街地の道路ネットワーク検討会」を開催しました。

検討会前半では、第2回検討会において委員から出された「道路ネットワーク」に関するご意見について、A班・B班ごとに事務局から発表を行い、前回内容の振り返りと確認を行いました。

検討会後半では、第1回及び第2回の検討会での意見交換を踏まえて作成した資料を事務局から説明し、これに対してご意見をいただきました。

また、検討会の最後には検討会を通してのご意見をいただきました。



(1) 本検討会でのご意見の取りまとめ(図面と表)

第3回検討会の資料として作成した、第1回～第3回までのご意見を取りまとめたものは図11と表7のとおりです。

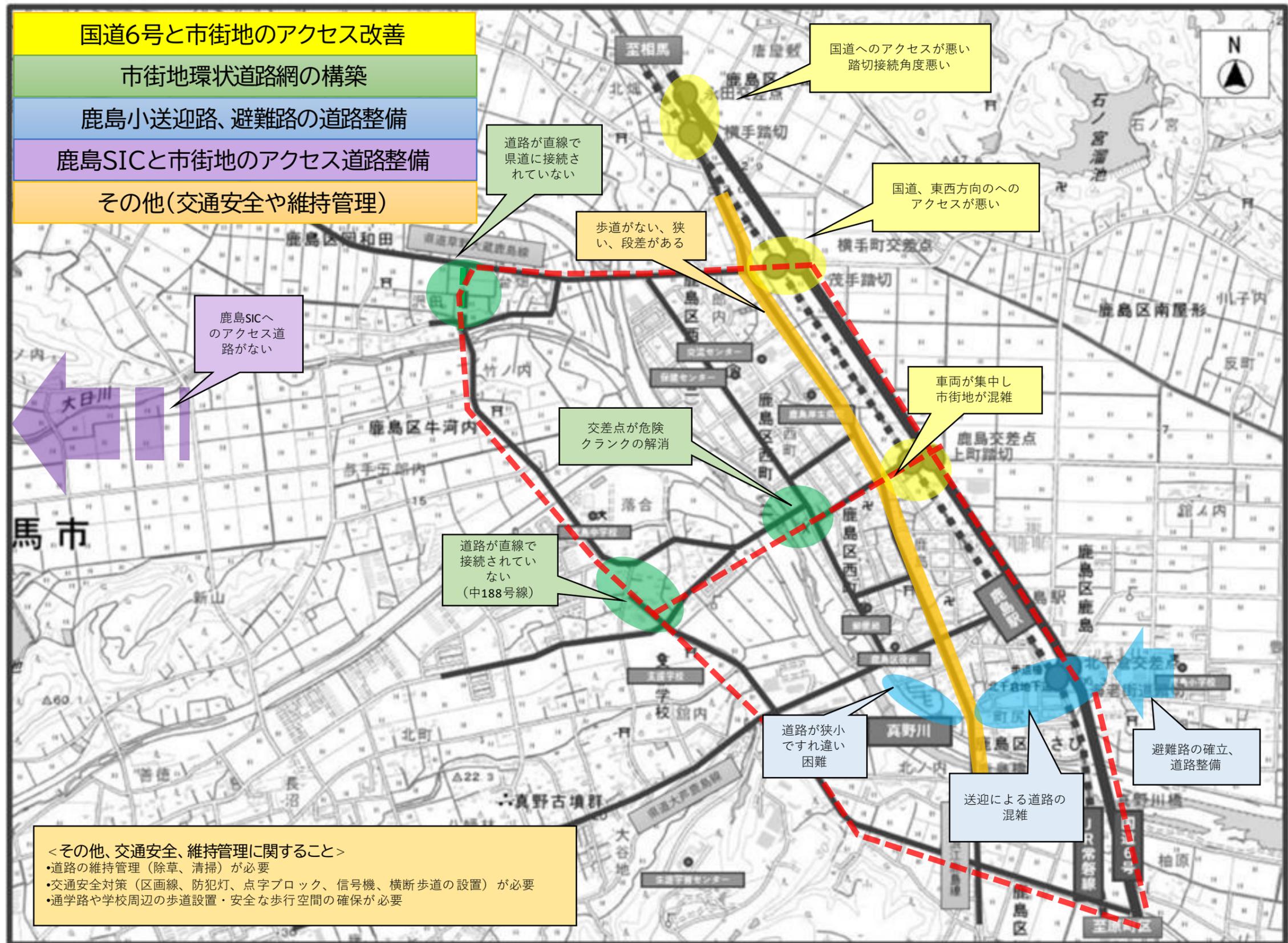
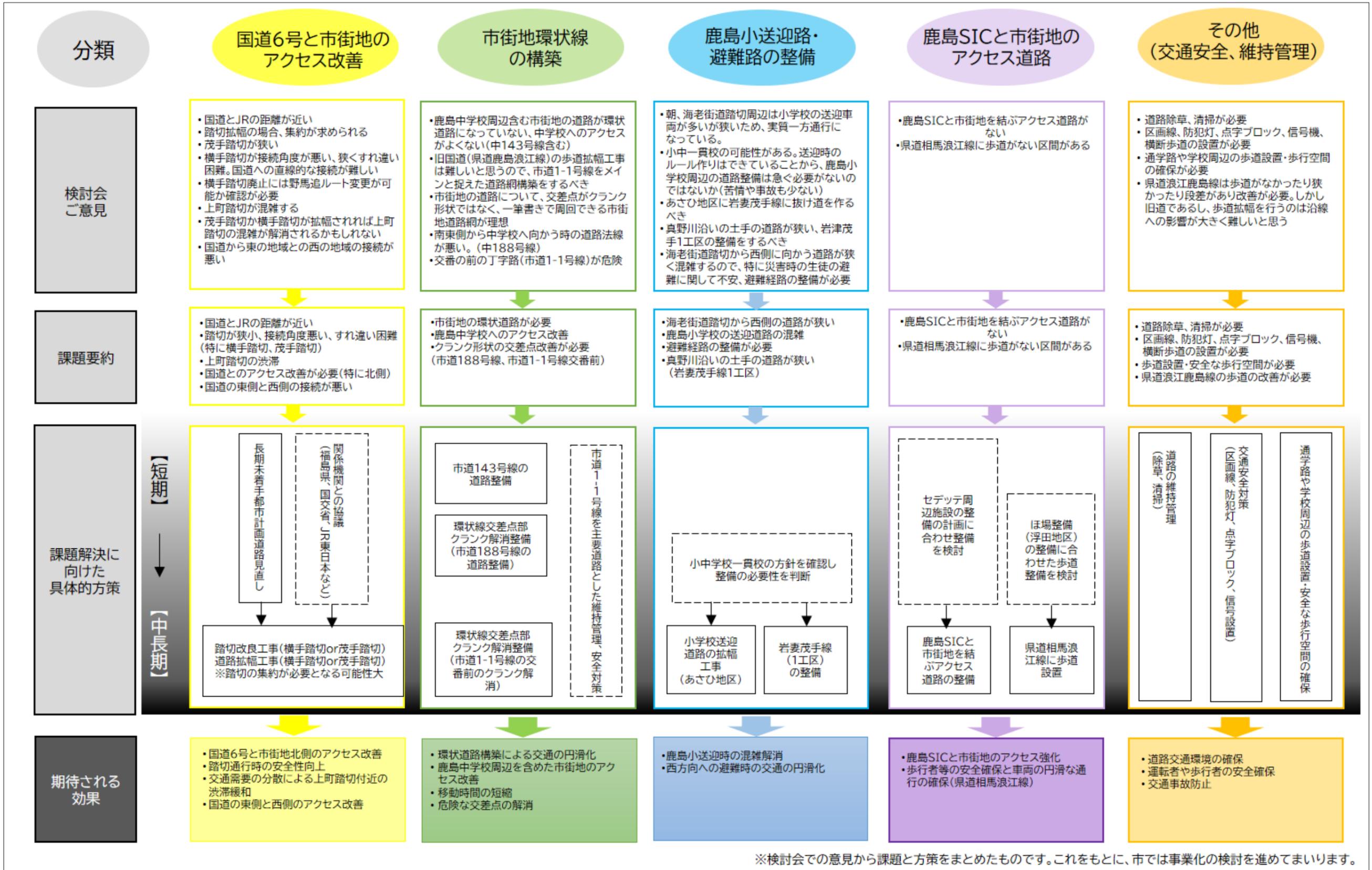


図11. 検討会のご意見まとめ(図面)



※検討会での意見から課題と方策をまとめたものです。これをもとに、市では事業化の検討を進めてまいります。

表7. 検討会のご意見まとめ(一覧表)

(2) ご質問と回答

第3回検討会での委員からのご質問と事務局からの回答は内容は表8のとおりです。

道路課題とその方策に関するご質問	回答
方策の短期、中期とはどれくらいの時間軸なのか	短期は概ね3年程度、長期でそれ以上という時間軸で考えています。計画→設計→予算→工事の順に進めるため、道路工事には最低でも3年程度はかかる見込みです。また大きな事業であればもっと長い期間が必要になります。
整備に優先順位をつけないといけないと思う。できるだけそれが見えたほうがいいと感じた。どう考えているか。	優先順位としては横手踏切、茂手踏切が一番高いと考えています。国、県、JRとの協議が必要であり、事業のハードルが高いですが、まずは協議を始めます。できれば都市計画道路の位置付けと合わせて実施していきたいと考えています。
検討会の意見をどこかの段階で、もう少し分かりやすい形で周知していく予定はあるのか。回覧版や広報誌などでいいが、ここまで詳細が無くてもそれぞれの色分けごとに取り組みの進捗などを周知してもらいたい。	HP掲載、地域協議会(途中経過がすでに報告済み)等で周知します。「令和7年度わかりやすい予算書」では取組みについての記事を掲載しています。過去、議会や商工会などで質問が出ているので、その際にはこの検討会の結果をお伝えていくつもりです。今回説明した資料や、本日のご意見をもとに「報告書」を作成し周知します。
金額に換算しないとわかりにくい。いくらかかるかわからない。	概算の事業費は把握しています。ただし、市全体で考えた際に、例えば鹿島区ではサービスエリア周辺施設の開発や駅舎改築などがあり、道路にどれくらいのお金が使えるか、市内部でどの程度道路に使えるかを検討していく必要があります。なんとかひとつでもふたつでも事業化し、進めていきたいと考えています。
岩妻茂手線で度々出たのは費用がかかるということ。実際は住民が減っている。その時にも「費用対効果」という言葉がでた。こちらからすれば、鹿島の住民が少ないからできないと言われているように感じた。道路をつくるといいことがあって、それによって経済的効果や便利さが得られるということをもっと前面に出してもらいたい。	市の事業において、事業費が5億円を超える場合、費用対効果の検証が必要となります。ご意見をいただいたとおり、事業の効果をアピールすることは非常に大切だと考えています。例えば幅員が狭いという理由だけでは、予算がつきにくい状況です。特に国の補助をもらうためには地域のビジョンを描き、効果をアピールする必要があると考えています。

<p>少子高齢化が確実なか、アパートがたくさん建っている。このままでは建物は多いが人がいないという状況になりそうだと思っている。鹿島市街地はSAからも近く、道路がしっかり整備されれば周辺のベットタウンになる可能性もある。人口密度を考えた開発計画を考えてもらいたい</p>	<p>人口減少のなかインフラをどのように維持していくかという問題は大きな課題であり、今後はメリハリをつけて事業を実施する必要があります。市では立地適正化計画の作成も予定しており、市全体で移住・定住政策などにも取り組んでいますので、それらも踏まえ道路整備も進めていきたいと考えています。</p>
<p>道路を整備する際は、自歩道や自転車専用レーンを設置してもらいたい</p>	<p>自転車で通学する生徒は少なくなっており、需要は減っている状況です。一方で、福島県ではサイクリングロード整備しているため、必要に応じて検討していきます。</p>
<p>道路整備に関する費用対効果について、教えて欲しい。</p>	<p>整備効果÷整備費用で算出される数値です。効果の項目には走行性、時間短縮、発生事故の軽減などがあります。一般的には、費用対効果が1.0を超えると事業化が妥当であると判断できます。</p>

表8. 委員からの質問と事務局の回答

8. まとめ

(1) 全体を通しての委員からの感想、ご意見

検討会全体を通して各委員からの感想やご意見等は次のとおりです。

- 住民が考える課題を把握してもらったと思う。ぜひ実行し具体化してもらいたい
- 少子高齢化、予算、費用対効果などを考慮するとハードルが高いと感じる。検討会としてもやはり一番大きな課題は踏切であるという認識だったので、検討での話が突破口になればありがたいと感じた。
- 道路整備は最後に難しい路線が残ると感じた。
- 相馬浪江線の歩道整備は進む予定。
- 市道や県道の整備には地元の方のご協力が必要。ぜひ用地などについて協力いただきたい。今回作成された色分けされた資料は分かりやすくまとまっていると思う。長期的な課題の解決には時間がかかるが維持管理はしっかり対応したい。
- この検討会をきっかけに、自分の足でまた街を足歩いたりして、改めてこの地区の良さに気付くことができた。道路整備には時間がかかると思うが、鹿島SA周辺施設の整備計画などもあるので、鹿島をどのように発展させていくかを全体的に考えて欲しい。
- 何かひとつでも形に残してもらいたい。鹿島SAなど含め、どんどん鹿島の再開発が進んでいくと思っている。将来は明るいと思いたい。サイクリングロードを使って欲しい。

- アパートが増えすぎていて空き家が心配。道路ネットワークを良くすれば、住居も注目される可能性もあるし、将来を見据えた道路ネットワークにしてもらいたい。官民連携は難しいかもしれないが、民間開発の流れを感じてもらい、道路整備をお願いしたい。
- 今回検討会で出た課題を解決し、高齢者にも安全な街をつくるのが大切だと思う。取組みをPRしながら、鹿島区全体で機運を上げていくことが大事。
- 今回挙がった課題は、生活している市民の生の意見でどれも大事なものである。全部一度に解決するのは無理だと思いますが、優先順位をつけて実施してもらいたい。
- 上真野小学校は入り口は奥まっけて入りにくく送迎しにくいですが、逆に、そのために車がさばき切れていると思う部分もあると思う。上真野保育園は道路に面しているが、送迎はしにくい。道路ネットワークの整備が進めば便利になると思う一方、通り過ぎるだけになってしまうこともあるかもしれないので、逆に不便になることもあるかもしれない。なので、道路はちょっとだけ便利になればいいのでは、というところがいい落としどころなのではと感じている。



(2) 今後の対応

市では今後、道路課題の解決に向けて取り組んでまいります。すべてを一度に実現することは難しいですが、中長期的な対応が必要な案件について関係機関と協議を行い、短期的な対応が可能な案件は早期事業化に向けて予算確保に努めるなど、いただいたご意見を一つひとつ形にできるよう進めてまいります。

(3) 御礼

委員の皆様におかれましては、ご多用のところご参加いただき、貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。

9. 参考資料

(1) 委員名簿

別添参考資料1のとおり

(2) 第1回～第3回ダイジェスト版

別添参考資料2、3、4のとおり

